

# セイナンヒラゴケ

*Neckeromnion calcicola* (Nog.) S. Olsson, Enroth, Huttunen & D. Quandt

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

## ■ 県内分布

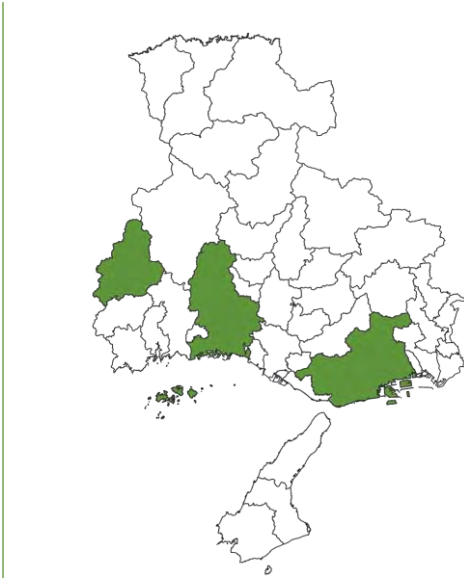
神戸市、姫路市、佐用町

## ■ 国内分布

本州、四国、九州

## ■ 選定理由

| 人為性    |  | 特殊性    |   | 学術性   |   |
|--------|--|--------|---|-------|---|
| 生育環境破壊 |  | 特殊生育環境 | ○ | 特殊な分布 |   |
| 観賞用等採取 |  | 特異な生態  |   | 分布の限界 |   |
|        |  |        |   | 希少    | ○ |



## ■ 特記事項

以前の学名は、*Neckeropsis calcicola* Nog.。2020年版でBランクからCランクに変更した。

## ■ 保護上の留意点

## ■ 種の概要

大型で、二次茎は長く、30cmを超えることもあり、葉を含めて幅5-6mmあって存在感がある。枝葉まばら。葉は強く扁平につき、長さ2.5-3.0mm、舌形で、先端が切頭で角張り、強い横じわがある。中肋は細くて短い。ふつう葉縁の片側が内曲する。葉身細胞は楕円形から線形、厚壁でくびれがある。雌雄異株。蒴は非常にまれ。蒴柄は長さ約2mmで蒴とほぼ同長。蒴は卵状楕円形で直立し、相称、苞葉からわずかに顔を覗かせる。胞子は直径15μm程度と小さく、細かいパピラをもつ。帽は僧帽状で少数の毛をつける。石灰岩上(まれに樹上)にまばらな群落をつくる。